



医療連携だより[アシスト]

ASSIST

2017.9
No.42

帝京大学医学部附属病院

contents

ハイブリッドER導入のご案内

帝京大学医学部救急医学講座

准教授 藤田 尚

地域で支える“サバイバーシップ” ～板橋サバイバーシップ研究会の活動紹介～

帝京大学医学部内科学講座

准教授 渡邊 清高

第7回 帝京大学医療連携セミナー のご案内



ハイブリッドER導入のご案内

帝京大学医学部救急医学講座
准教授 藤田 尚

2017年4月から当院高度救命救急センターにハイブリッドERが導入されました。ハイブリッドERシステムとは、CT撮影と血管造影が可能な装置に、同じ診療台に患者を載せたまま緊急手術ができる機能を持たせたものです。現在、わが国でこの装置が稼動している救急医療機関は10施設あります。

重い外傷の診療を行うときに、血液の循環状態が良くない患者に対して、容態の急変への対応ができなくなるCT撮影装置への移動は危険であるとされ「CTは死のトンネル」といつて厳に戒められてきました。しかしハイブリッドERではこの移動が必要なく、同じ台に載せたままで処置ができることから、撮影中の急変にもすぐに対応できる状況で安全にCTを撮ることが可能になりました。また、CT撮影までの時間が短縮され、止血のために手術が必要か、体外からの血管内治療でよいかの判断が早くなり、緊急手術後の血管内治療もすぐに行えるなど、処置

の迅速化によって救命に大いに役立つものと確信しております。

また心停止患者に対する救命治療のなかで、心臓や肺への血流をバイパスする体外循環を行う場合があります。体外循環の際には、PCPS（経皮的心肺補助装置）に接続したカテーテルを両足の付け根の動脈と静脈から挿入して、動脈側の管を腹部の大動脈に、静脈側の管を心臓の右心房付近まで送り込むのですが、この挿入の際、ハイブリッドERでは同時にX線撮影を行うことで、透視しながら迅速かつ正確に行うことができます。PCPSの装置によって心臓に代わるポンプ機能と、肺に代わるガス交換が行われ、患者自身の心臓が動き出すまで持ちこたえることで、救命率の向上が期待されます。

帝京大学医学部附属病院高度救命



救急センターは「断らない救急」をモットーに、救急車応需率95%以上、搬入数年間2400例の実績を挙げております。これからも救急医療の最後の砦としてスタッフ一同がんばってまいります。



帝京大学医学部救急医学講座 准教授
藤田 尚（ふじた たかし）

1990年群馬大学医学部卒
1990年聖路加国際病院レジデント
1995年帝京大学医学部附属病院救命救急センター
2009年帝京大学医学部救急医学講座講師
2014年同准教授
日本救急医学会、日本外科学会、日本消化器外科学会、
日本消化器病学会、各指導医専門医
Fellow of American College of Surgeons

お問い合わせ先:

帝京大学医学部附属病院
医療連携室

TEL: 03-3964-1498

FAX: 03-3964-9849

紹介状をお持ちの方の
初診外来予約。

地域で支える“サバイバーシップ” 板橋サバイバーシップ研究会の活動紹介

帝京大学医学部内科学講座
准教授 **渡邊 清高**

人口の高齢化が進む一方、医療技術の進歩により、急性期の死亡率は減少しつつあります。最近のがんの5年生存率は65%と、その数値は年々向上してきています。一方で、患者さんは治療を継続しながら通院や在宅で療養することが多くなってきました。病を患いながら家庭で暮らす、仕事を継続するなど、地域で生活する患者さんご家族をどのように支えるか、地域社会の課題になってきているということもできます。近年がんの分野では、疾患や治療効果の有無によらず診断されたときから最期のときまで「よりよく生きる」生存者であり続けるという「サバイバーシップ」という概念が重視されてきました。

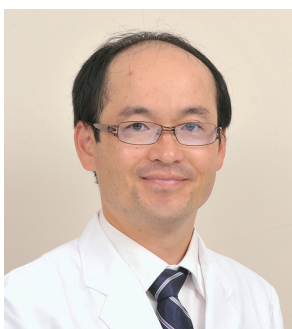
2016年より、板橋区医師会会長水野重樹先生のリーダーシップのもと、在宅部・学術部・在宅医会の先生方を中心に、病気を経験した方の社会生活を支える視点での支援の充実をめざして「板橋サバイバーシップ研究会」を企画いただきました。テーマは、がん・神経難病・栄養・認知症・心不全などで、がん以外の疾患も含めた事例における在宅でのセルフケアやリハビリテーションの継続、対話の継続と意思決定の支援、介護や生活支援などの話題について、医師・看護師・医療ソーシャルワーカーをはじめとする多職種・多施設からの参加者によるグループワーク(研修会)を行っています。

医療・患者さんの想い・家族を含めた周囲の状況・生活の質など多様な切り口で、地域で暮らす患者さんの事例をもとに、少人数のグループに分かれて詳細な分析を行います。日常の診療を別々に行っている施設や職種による参加者が、立場の垣根を越えて話し合うことで、お互いの考え方や強み、ちょっとした工夫について学び合うことができるとともに、支援のためのヒントを得ることが出来ます。参加者から寄せられた声でも、ほとん



どすべての参加者から「わかりやすい」「役に立つ」と好意的な意見が寄せられました。患者さん・ご家族の意向に基づく対話の必要性について議論を重ねていくことで、支援に関わる多職種のスキルアップにつながっていきます。

地域で支える医療を実現するために、患者さんに安心して受診していただける診療を担うとともに、日々の連携をより緊密にしながら、顔の見える関係づくりを多くの先生方と一緒に実践して参りたいと考えております。引き続きと皆さまのご支援とご指導を、よろしくお願い申し上げます。



帝京大学医学部内科学講座 准教授(腫瘍内科)
渡邊 清高 (わたなべ きよたか)

1996年東京大学医学部卒。内科、救命救急研修を経て、2003年東京大学消化器内科。
2008年国立がん研究センターがん対策情報センター、中央病院総合内科、2014年より現職。
最新のがん診療と薬物療法の開発に携わるとともに、地域で療養するがん患者さんご家族を支える情報と連携のモデルを全国で発信し、現場と地域のニーズに応じた普及の取り組みを実践しています。外来は木曜日。

お問い合わせ先:

帝京大学医学部附属病院
医療連携室

TEL: 03-3964-1498

FAX: 03-3964-9849

紹介状をお持ちの方の
初診外来予約。

2017年10月18日(水)

医療従事者対象

第7回 | 帝京大学医療連携セミナー

FAX番号:03-3964-9849

参加申込用紙

参加ご希望の方は、こちらの用紙に必要事項をご記入の上FAXにてお申し込み下さい。

ご施設名	
ご住所	
職種・役職名	
ご氏名	
ご連絡先(電話番号 or E-mail)	

ご施設名	
ご住所	
職種・役職名	
ご氏名	
ご連絡先(電話番号 or E-mail)	



***大変お手数ですが、9月30日迄に
お申込みいただけますようお願い申し上げます。**

ACCESS

池袋駅からのアクセス

- JR池袋駅メトロポリタン口より徒歩1分
- 池袋駅西口より徒歩3分

お車でのアクセス

- 首都高速
北池袋インターより7分／護国寺インターより7分／東池袋インターより7分

●連絡先
帝京大学医学部附属病院 医療連携室
TEL.03-3964-9830 FAX.03-3964-9849

第7回 帝京大学医療連携セミナー

Time

2017年10月18日(水)

■ 講演会 19:00～ ■ 懇親会 20:00～

Place

ホテルメトロポリタン池袋 3階「富士」

〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 TEL.03-3980-1111(代表)

講演・活動報告

地域で支える“医療”

第1部 19:00～

I 講演

「ハイブリッドERと 高度救命救急センターについて」

救急科 准教授 藤田 尚

II 活動報告

「地域で支える“サバイバーシップ” ～板橋サバイバーシップ研究会の活動紹介～」

腫瘍内科 准教授 渡邊 清高

医療連携室より活動報告

第2部 20:00～

懇親会

●お問い合わせ

帝京大学医学部附属病院

医療連携室 TEL.03-3964-9830

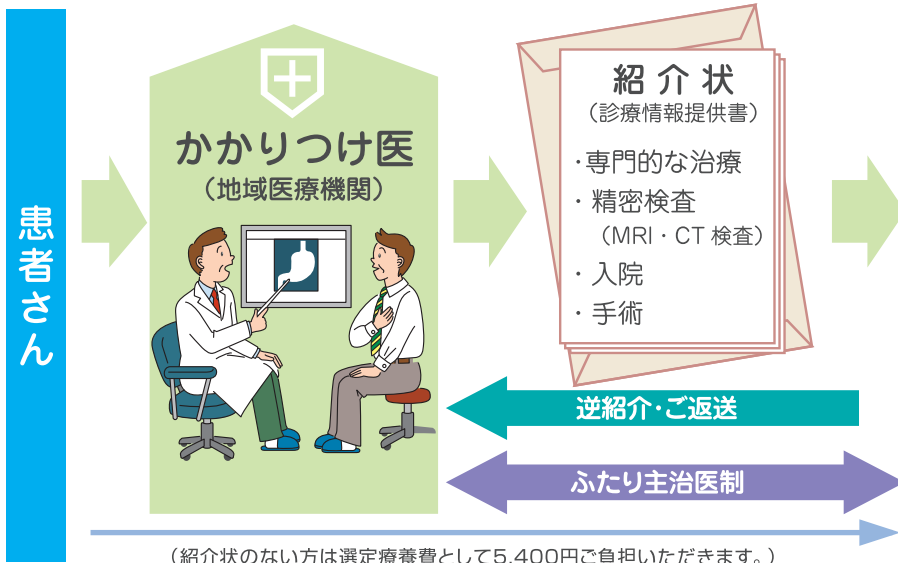


帝京大学病院では紹介状があれば初診でも予約*ができます。

※事前にお電話下さい

医療連携の流れ

帝京大学病院では、かかりつけ医との機能分担をすることにより、専門的な治療(手術、入院、精密検査など)をおこないます。



帝京大学医学部附属病院
予約専用(医療連携室)
03-3964-1498

予約受付 平 日 8:30~17:00
時 間 土曜日 8:30~12:30

初診受付

診療受付 平 日 (予約あり) 8:30~14:30
時 間 (予約なし) 8:30~11:30
13:00~14:30
土曜日 8:30~11:30

紹介状をお持ちの患者さん

- ① 予約電話 (03-3964-1498) までお電話ください。
電話予約の際にご確認させていただく項目
(お名前、生年月日、性別、住所、電話番号など)
- ② 予約完了
- ③ 当日は15分前までに初診受付までお越しください。

紹介状をお持ちでない患者さん

- ◎ 初診受付
診療受付時間 平 日 8:30~11:30/13:00~14:30
土曜日 8:30~11:30

直接初診受付へお越しください。

※当日の診察状況によっては受診できない場合もございます。



上の地図は略図のため、実際の地形とは異なりますのでご注意ください。

- 1 JR埼京線 十条駅
北口より徒歩約10分
北口ロータリータクシー乗り場より約6分
- 2 都営三田線 板橋本町駅
A1出口より徒歩約13分
A1出口より約6分
- 3 JR埼京線 板橋駅
西口①番のりばより
帝京大学病院経由、王子駅行き 乗522 (約8分)
「帝京大学病院」バス停下車
西口より約9分
- 4 JR各線 赤羽駅
東口⑤番のりばより
高円寺駅北口行き 乗31 (約11分)
「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
西口⑨番のりばより王子駅行き 乗50 (約14分)
「上十条四丁目」バス停下車徒歩約5分
西口より約12分
- 5 JR京浜東北線・東京メトロ南北線 王子駅
北口⑥番のりばより
帝京大学病院経由、板橋駅行き 乗222 (約12分)
「帝京大学病院」バス停下車
北口より約9分
- 6 JR各線・東京メトロ各線 池袋駅
西口より約16分
- 7 東武東上線 上板橋駅
北口①番のりばより王子駅行き 乗54 (約13分)
「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
- 8 東武東上線 ときわ台駅
北口①番のりばより王子駅行き 乗54 (約9分)
「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
北口より約12分



特定機能病院
地域がん診療連携拠点病院
東京都災害拠点病院

帝京大学医学部附属病院

〒173-8606 東京都板橋区加賀2-11-1
TEL.03-3964-1211 (代表)
お問い合わせ E-mail:renkei@med.teikyo-u.ac.jp

医療連携だより [アシスト]
Assist

帝京大学病院

検索

www.teikyo-hospital.jp

※所要時間は日中平常時、最長時間の目安となっておりますので、時間帯や道路状況により異なります。

タクシーをご利用の場合 バスをご利用の場合 徒歩の場合